

「平成 29 年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会(第 3 回)」  
議事概要

I 日 時

平成 29 年 12 月 14 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 20

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 6 階 会議室 1 ~ 3

III 出席委員 (敬称略)

中村 洋 (慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授)

和田 義博 (公認会計士)

◎ 疋田 英一郎 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事)

○ 大塚 美智子 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事 (非常勤))

※ 松田委員は欠席

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

(1) 審議事項案件

- ① 平成 30 年 1 月から 3 月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件  
(一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。)に係る事前点検について
- ② 平成 29 年 7 月から 9 月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
  - I : 随意契約等における価格交渉状況
  - II : 一者応札・応募となった案件の次回改善策
  - III : 低落札率案件の予定価格設定等

(2) その他

V 議事内容

- (1) ① 平成 30 年 1 月から 3 月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成 29 年 7 月から 9 月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
  - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
  - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① システム開発が計画されている場合、既存のアプリケーションへの影響を考慮した保守契約期間の設定を行うこと。</p> <p>② 価格競争を排除して企画競争を選択する理由を明確にするとともに調達結果の検証を行い、次回調達方法の再検討を行うこと。 ※アイデアを競うような調達に相応しいのか、総合評価落札方式より何が優れているのかを明確にすること。</p> <p>③ 資料記載上の留意点</p> <p>1) 公募を選択する際には、競合する他者がいないことを確認するといった理由を明記すること。</p> <p>2) 調達予定案件総括表に行政割引率を記載すること。また、ソフトウェアにおいては、同等のものがないといった特異性についても記載すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいりたい。</p>

(2) その他

平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上